

## 「第7回 土木設計関係技術発表会」 発表概要書

発表内容	事例名（業務名）	俵山地区地質調査業務（その3）
	業務発注者名	中国地方整備局 山口河川国道事務所
発表者	所属協会名	山口県測量設計業協会
	所属会社	株式会社 宇部建設コンサルタント
	発表者名	宗村 知明

### 発 表 事 例 の 概 要

＜図表も含め1000字(40字×25行) 程度以内＞

#### ①業務の内容、技術的特徴等

本業務は、俵山・豊田道路のうち長門市俵山地区において、構造物（補強土壁、擁壁、カルバート等）の設計・施工に必要な地盤情報を得ることを目的として地質調査を実施したものである。

実施した調査は機械ボーリング、標準貫入試験、室内土質試験及び総合解析である。

調査実施計画立案にあたっては、踏査によって路線及び各構造物周辺における地質状況を把握した上で適切な調査ボーリング位置を検討・選定した。

また、総合解析として、N値や文献に基づき、各構造物に対して地盤定数を設定するとともに、設計・施工上の留意点を記載した。

#### ②表彰に至る高評価の要因等

以下のような点を高く評価していただいたものと考えている。

- 1) ボーリング及び室内土質試験の追加提案・実施により、調査結果の精度を高めることができた。
- 2) 設計・施工上の留意点の記載にあたり、わかりやすい資料作成を心掛けた。
- 3) 関連のある業務等の受注者との調整を行った。それと併せて、発注者からの問合せ等に対し、迅速な対応を心掛けた。
- 4) 品質管理について、多段階チェックと多重チェックを行う体制とした。
- 5) 安全管理について、安全会議や社内安全研修会、始業前点検・KYK、熱中症対策等を行い、事故が発生しないように努め、無事故で終えることができた。
- 6) 工程管理について、調査実施計画段階で作業班と話し合い、効率的な工程とした。また、業務週報や業務履行報告書、業務スケジュール管理表等を活用するとともに、予定していた工程にズレが生じる場合は発注者に報告して情報共有を図った。
- 7) 地元関係者へは、作業の箇所・内容がわかる資料を準備し挨拶・説明を行って了解をいただいた。これによって、トラブルもなく終えることができた。

#### ③業務遂行上、苦勞した点や工夫した点等

- 1) 作業における注意事項を作業者に周知し厳守した。また、地元関係者には作業内容を丁寧に説明し、田での作業後などは復旧状況を確認していただく等、良好な関係の構築に努めた。
- 2) とりまとめの際、各構造物の展開図等に地質状況や設計・施工上の留意点等の情報を記載し、その箇所におけるポイントが一目でわかるように工夫した。
- 3) 現地作業及び資料整理にあたっては、若手技術者を起用することにより、若手育成に努めた。

#### \* 概要書記載上の留意事項

- ①業務の内容、技術的特徴等を簡潔に記載
- ②表彰に至る高評価の要因等を簡潔に記載
- ③業務遂行上、苦勞した点や工夫した点等を簡潔に記載

#### \* 発表資料作成上の留意事項

- ①パワーポイントにて25枚程度以内に簡潔にまとめる
- ②上記の概要書記載上の留意事項①～③に留意して作成